

This is a newsletter from Shinshu University International Center (SUIC).
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version
http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/upload/pdf/publications/suicnewsletter_vol.33.pdf
.....

◆◆◆ Vol.33 2011.11. 7 ◆◆◆

◆◆◆
信州大学国際交流センター ニュースレター
Shinshu University International Center (SUIC) Newsletter
◆◆◆◆◆

発行：信州大学国際交流センター(SUIC)
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/>

〔 今号の目次 〕

- * ごあいさつ
- * 最近の出来事
- * お知らせ
- * 信大NOW No. 71
- * スタッフ近況報告 (天野 弥生 先生)
- * 生活ちょっとコラム



□ ごあいさつ

みなさんお元気ですか？

前回ニュースレターで触れた我が家のイモムシたちもすっかり姿を消し、キャンパスの木々も美しく色づいて秋本番を迎えました。先月の初めごろ急に冷え込んで慌ててストーブを出したところ、中旬にはお天気にも恵まれまた暖かくなり、ちょっと拍子抜けしてしまいました。

先日、松本市内で桜の花が咲いたというニュースを新聞で読みました。害虫（アメリカシロヒトリ）の被害で葉が全部なくなってしまったところに急な冷え込みがあり、その後また暖かくなったことで桜のつぼみが春と勘違いしてしまったようです。この時期は、寒さや暖かさを繰り返しながらだんだん冬に近づいていくのですね。

みなさんの国は、今どんな季節なのでしょうか。



□ 最近の出来事

★信州大学国際交流同窓会支部設立総会を開催

9月に韓国・ソウル、10月に中国・上海及び北京において国際交流同窓会支部設立総会及び懇親会が開催されました。本学からは、ソウル支部に三浦理事、各支部に赤羽国際交流センター長ほか国際交流担当教職員が参加し、懇親会においては参加者から国際交流同窓会の発足及び支部設立に当たり歓迎の言葉が寄せられ、近況報告など短い時間ではありましたが語り合い、本学卒業生が現地で活躍している様子を知ることが出来ました。

詳しくはこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/alumni/reunion/post-97.html>

★長野県北部地震・栄村シンポジウム「復旧・復興の現状と今後の課題—震災後7カ月を経過して—」を開催

3月12日の長野県北部地震から7カ月が経過し、栄村では大規模土石流の対策工事が行われ、国・県・村道の改修、橋梁・下水道工事が進み、農地の復旧事業も始まりました。さらにこれから村営住宅の建設や復興計画の作成が望まれる中で、信州大学中山間地域プロジェクトは10月16日（日）、農地の被災・集落調査の結果をもとに復旧・復興のあり方を考えるシンポジウムを開催、約100名の来場者が参加しました。

詳しくはこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2011/10/-7.html>

★教育学部附属松本中学校が長野県初のユネスコスクールに認定されました

教育学部附属松本中学校（松岡英子校長）では、「たくましく心豊かな地球市民」を学校目標として、地球規模で起きている問題を身近な問題として考える、「地球市民集会」を開催したり、松本城の清掃等のエコ活動に取り組んだりしてきました。

こうしたこれまでの活動内容が「ユネスコスクール」のねらいと合致していることが認められ、このたび長野県内で初めての認定校となりました。

詳しくはこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/news/2011/10/1344585.html>

■ □

□ お知らせ ～信州大学国際交流同窓会を開催します～

2011年信州大学国際交流同窓会を以下のとおり開催しますのでお知らせします。是非、ご参加ください。お待ちしております。

日 時 2011年11月26日（土）17時から

場 所 信州大学松本キャンパス「学生食堂（あずみホール）」
アクセスマップ・キャンパスマップ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map05.html>

参加費 3千円

参加申し込み方法・期限

参加される方は、11月11日（金）までに、次の事項をe-mailにて連絡ください。

e-mailアドレスは suidosokai@shinshu-u.ac.jp です。

- (1) 名前（フリガナ）
- (2) 出身国
- (3) 卒業・修了年度
- (4) 卒業学部学科・修了研究科専攻
- (5) 現住所
- (6) 電話番号
- (7) e-mailアドレス
- (8) 勤務先・職名（学生の方は在籍学校名）
- (9) 旭会館への宿泊を希望する方は、「旭会館宿泊希望」と書いてください。

その他 お問い合わせはこちらにお願いします。

信州大学国際交流同窓会事務局
E-mail suidosokai@shinshu-u.ac.jp
電 話 0263-37-2865
FAX 0263-37-2181

* 宿泊場所として旭会館（1人2,200円）を用意しましたが、人数制限がありますので、宿泊希望者申し出順とさせていただきます。

* ご提出いただきました個人情報につきましては、同窓会名簿作成のほか、今後の連絡に利用させていただくこととし、第3者への提供は行いません。

■ □

□ 信大NOW No.71 のご案内

信州大学のニュース、歴史や人にまつわる記事、イベントや公開講座の紹介、研究者の研究内容など、信州大学が良くわかる広報誌「信大NOW」。最新号の目次を紹介します。

<No.71>

◎発表 信州「知の森」づくり

PLAN “the FIRST” 2011-2013

— 持続可能な明日のために —

PLAN “the FIRST” 2011-2013の策定への思いを語る

対談 信州大学長 山沢清人 × 信州大学副学長 笹本正治

◎地域と歩む。信州大学 其の三

大町市と進める”岳のまち”づくり
人文学部生、国土交通省から大賞受賞
「“水の恵み”とふれあう水の里の旅コンテスト」他

◎信大発イノベーションクリップ 地域に「知」を生かす先端研究
地域卓越研究者戦略的結集プログラム
エキゾチックナノカーボンの創成と応用プロジェクト拠点
次世代のハイブリッド・ナノカーボンを創る
P.M. アジャランチーム

◎NASAが採択！
医学部耳鼻咽喉科学講座「宇宙酔い解明」への道
ハッブル宇宙望遠鏡を使う夢、実現

◎行動する、信州大学附属図書館
「長野県遺跡資料リポジトリ」登録件数1640件
古代の暮らしからメッセージを見つける

◎TOPICS
池上彰特任教授 平成23年度夏季集中講義
医学部再開発事業記念式典開催

◎信大キャンパスの「樹」シリーズ②
サイカチの木 上田キャンパス

全文は信州大学の公式Webサイト上でデジタルパンフレットとして公開
されていますので、ぜひご覧ください。↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/publication/#publication>

■□

□ スタッフ近況報告 天野 弥生 先生（国際交流センター非常勤講師）

紅葉の美しい季節になりました。日本は、春夏秋冬の季節がはっきりして
いるので、それぞれの季節を楽しめますね。

さて、皆さんは、「秋」というと、どんなことを思い浮かべるでしょうか。
柿や栗など、食べ物が美味しい季節、食欲の秋ですか。日が短くなって長い
夜を讀書で過ごす読書の秋ですか。それとも、美術や音楽に親しむ芸術の秋
ですか。あちこちで、よく展覧会や文化祭が行われるのもこの季節ですね。

私の趣味は、機織（はたおり）つまり織物でいろいろなものを作ることです。
帯も織りますが、タペストリーや、額絵などを織るのが好きです。布をテー
プのように細く切って使います。布をさいて織るので裂き織り（さきおり）
といいます。

11月に東京と農学部のある伊那市で、展覧会がありその作品を織っています。
「海」や、「宇宙・空」をイメージしたものを、シリーズで織ったりしていま
すが、今回は布をクレヨンのようにして、絵を描きたくなり布で「らくがき」
してみました。

作品はこんな感じです。

http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/upload/photo/vol33_amano.JPG

世界中どこにでも、その地域や民族に伝わる素敵な織物があります。また、
モダンにアレンジした個性豊かな織物もあります。皆さんの国にも、きっと
すばらしいものがあると思います。私は、いつか織物をめぐる旅をしてみたい
と思っています。

皆さんも素敵な秋をお楽しみください。

■□

□ 生活ちょっとコラム ～七五三の季節です～

11月初旬のこの季節、神社を訪ねるとかわいらしい着物を着た子供たちを
目にします。

皆さんは七五三の行事をご存じですか？日本では男女ともに3才、5才の
男の子、7才の女の子のお祝いをする風習があります。昔は3才になると、
髪をのばして結いなおす「髪置（かみおき）」、男子は5才になると袴と小袖

をつけて扇を持つ「袴着（はかまぎ）」女子は7才になると、ひも付きの子供の着物から、帯を締めて大人と同じ着物を着る「帯解（おびとき）」の儀式が行われたそうです。また3才、5才、7才は子供の厄年、つまりアンラッキーな年であるとされ、神社やお寺にお参りをして、安全で健康な成長を祈ったという説もありますが、逆に奇数は縁起のよい数字であるという中国の思想の影響もあるといわれています。旧暦の11月は収穫の時期でもあり、子供の成長と実りの秋をあわせて神様に感謝する、という意味もあるそうです。

正式には11月15日が七五三のお参りの日ですが、現代では親の仕事の都合などで11月初旬の休日にお祝いをする家庭が多いようです。一般的には正装をして写真館で記念写真を取り、神社でお参りをして、家族で食事、というパターンが多いのですが、なにしろこの時期は写真館などが大混雑となり、風習通り11月にお祝いをしようと思ったら何カ月も前に写真館や貸し衣装を予約しなければなりません。

昔はおじいちゃん、おばあちゃんから着物をプレゼントされることが多かったのですが、今は貸し衣装で着物やドレスなど何度も着替え、何万円もかけて写真集のようなアルバムを作る人たちもいます。また11月は混むからということで、写真だけ先に撮る家も増えているようで、8月くらいになると、もう新聞の折り込み広告に写真館の七五三記念写真の広告が入ってきます。こうなると、なんだかお参りよりも、記念写真がメインになってきている感じがですね。

私の子供のころは、まだこんなに記念撮影商戦が白熱しておらず、神社でおはらいをしてから家で家族や親せきが集まって食事をし、お祝いをしました。きれいな着物を着て、主役になってとても嬉しかったのを覚えています。

また七五三の時には決まって「千歳飴（ちとせあめ）」という紅白の細長い飴をもらいます。長い飴の入った袋を引きずりながら歩いている子供の姿もかわいらしいものですが、長いのは、長寿の願いが込められているからなのだそうです。

みなさんの国にも、似たような行事がありますか？時代や国は違っても、子供の健やかな成長を願う心は一緒です。これからも、こういった伝統行事を大事にしていきたいですね。

それではまた。

●○○●○○●修了者データベース登録のお願い○○○○●○○●○

国際交流センターでは、留学生の帰国後のフォローアップの一環として、データベースの作成と活用をすすめています。まだこのフォームを提出されたことのない方は、ぜひ記入にご協力下さい。

このニュースレターの配信先メールアドレス変更もこちらからお願いします。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/alumni/database/alumni-database.html>

●○○●○○●○○○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●

◆配信元：信州大学国際交流センター(SUIC) 文責：西牧
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
Tel: 0263-37-3167 / Fax: 0263-37-2181
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/>

◆連絡先：iad@shinshu-u.ac.jp

*各種お問い合わせ
*配信停止希望
*メールアドレスの変更のご連絡
*情報掲載のご希望
*ご意見、ご感想 など
